

～災害発生時における避難所等への特設公衆電話・特設公衆W i - F i 設置訓練～
早期通信確保に向けた陸上自衛隊との共同訓練の実施について

NTT西日本東海事業本部（取締役事業本部長：東田盛 正治）は、南海トラフ地震など災害発生に伴う被災地での通信設備への被害を想定し、早期通信確保に向けた陸上自衛隊と共同訓練を実施します。

本訓練は「陸上自衛隊中部方面隊と西日本電信電話株式会社との間の災害時における通信の確保のための相互協力に関する協定」に基づき東海地域では平成23年から定期的に行っているものです。

なお今回は、例年実施している通信孤立地域発生を想定した衛星回線利用による特設公衆電話設置に加え、W i - F i カーを使用した光回線の無線接続による特設公衆W i - F i の構築訓練を行います。

また、訓練で設置した特設公衆電話と特設公衆W i - F i を利用し、周辺自治体等の皆様をお招きして災害用伝言ダイヤル(171)と災害用W e b 伝言板(W e b 171)の体験利用をしていただきます。

概要は、以下の通りです。

1. 訓練概要

(1) 訓練目的

南海トラフ巨大地震等の有事に備え、災害対策機器（小型ポータブル衛星端末局及び新型無線装置）を自衛隊のヘリコプターを使用して空輸する手順・技術を確認・習得する。

(2) 被害想定

南海トラフ巨大地震の発生に伴い開設された避難所の地域において、固定電話・携帯電話・インターネットが使用できない通信孤立が発生。

橋梁落下、土砂崩れ等により災害対策機器が避難所まで陸送できないとの想定。

(3) 訓練内容

- ① 自衛隊のヘリコプターによる NTT 西日本の災害対策機器の空輸。
- ② 小型ポータブル衛星端末局設置による衛星回線を利用した特設公衆電話の設置及び、光回線の無線接続による IP 無線伝送が可能となった新型無線装置と W i - F i カーを使用した特設公衆 W i - F i のサービス提供。

(参考：前回実施時のイメージ)



2.訓練場所

陸上自衛隊豊川駐屯地（豊川市穂ノ原1-1）

3.実施日時

2015年6月22日(月) 9:30~13:00

<訓練内容・スケジュール>

No.	時間	訓練内容
①	09:30~10:00	陸上自衛隊守山駐屯地（名古屋市）にてヘリコプターへ災害対策機器（小型ポータブル衛星地球局端末、新型無線装置）を積み込み。
②	10:00~10:30	陸上自衛隊守山駐屯地から陸上自衛隊豊川駐屯地（豊川市）へ災害対策機器を空輸。
③	10:40~11:10	陸上自衛隊豊川駐屯地到着後、災害対策機器の積み下ろし。
④	11:10~11:50	陸上自衛隊豊川駐屯地内に、特設公衆電話を設置及び特設公衆Wi-Fiの構築。
⑤	11:50~12:00	訓練講評
⑥	12:00~13:00	特設公衆電話及び特設公衆Wi-Fiを利用した、災害用伝言ダイヤル(171)と災害用Web伝言板(Web171)の体験利用。

4. 訓練参加者

陸上自衛隊員及びNTT西日本グループ社員 計38名

(内訳)

- ・陸上自衛隊第10師団 5名
- ・NTT西日本グループ 33名

以 上

ニュースリリースに記載されている内容は、報道発表時のものです。
最新の情報と内容が異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。